

太宰府天満宮（案内所トイレ・照星館（しょうせいかん）横トイレ）



御本殿

国内外から多くの参拝者が訪れる太宰府天満宮の御本殿。築400年を超える桃山時代様式を伝える五間社流造、屋根檜皮葺。国の重要文化財となっている。



案内所トイレ 外観

境内入口にある案内所と棟続きに設置された案内所トイレ。建物として全体の統一感がある外観デザインとなっている。



案内所トイレ 女性トイレ 入口



木の温かみと石の清澄さを調和させた内装デザイン。入口には、トイレ内部の配置図を掲示。女性トイレのサインは、巫女をイメージしたフォルムと袴の色（緋色）をベース色に採用した、太宰府天満宮らしいデザイン。



案内所トイレ 女性トイレ 洗面コーナー

広々とした明るい洗面コーナー。洗面コーナーには、あえて鏡を設けず、お化粧直しや身づくろいをしたい人は左側のスタイリングコーナーを利用してもらうよう、機能を分散して、混雑緩和を図っている。



案内所トイレ 女性トイレ 大便器コーナー

大便器ブースの空き状況がひと目でわかりやすいように、ドアの開閉と連動したサインを設置。



案内所トイレ 女性トイレ 大便器ブース



海外からの参拝者も多いことから、すべて洋式便器に変更し、大便器をはじめ器具の使い方などを4ヶ国語で記載した使い方ガイドを掲示している。



案内所トイレ 男性トイレ 入口



男性トイレも女性トイレと同様に、入口に配置図を掲示し、サインは神主をイメージしたフォルムと袴の色（浅黄色）をベース色に採用している。



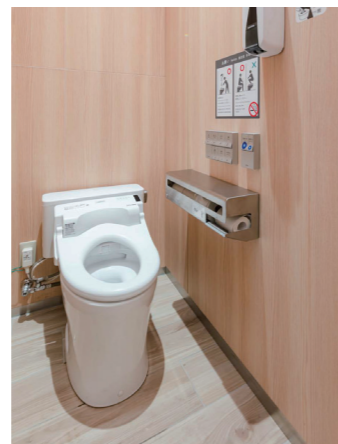
案内所トイレ 男性トイレ 全体

なだらかな曲線を描いた洗面カウンターと大型鏡が、空間に変化を与え、広々とした印象を感じさせる男性トイレ。



案内所トイレ 男性トイレ 小便器コーナー

開放感のあるトイレ空間。小便器コーナーには、大人用にくわえて幼児用小便器も設置し、大人から子どもまで安心して利用できるトイレとなっている。



案内所トイレ 男性トイレ 大便器ブース



乳幼児連れに配慮し、ベビーチェアやフィッティングボードを備えたブースを用意。外国人観光客にもわかりやすいピクトサインも掲示している。



案内所トイレ 男性トイレ 多機能トイレ

男女トイレそれぞれに多機能トイレを設置。さまざまな利用者を想定し、オストメイトに配慮した汚物流しや乳幼児連れに配慮したベビーシートなどを完備。それぞれの器具に使い方をピクトサインなどで掲示している。



照星館横トイレ 外観

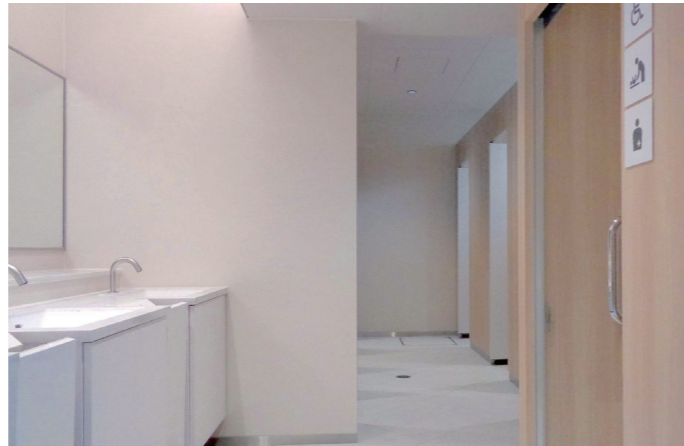
照星館横トイレは、周囲の雰囲気とあわせた和の趣で仕上げられた屋外トイレ。本殿裏に位置する食事処の照星館に隣接し、梅林も近いので、食事や休憩、散歩の合間に立ち寄り人も多い。

太宰府天満宮（案内所トイレ・照星館（しょうせいかん）横トイレ）



照星館横トイレ 入口

男女トイレ入口正面は、サインと同色の壁と木の棧を組み合わせ、和風な趣を大切に洗練されたデザインとなっている。



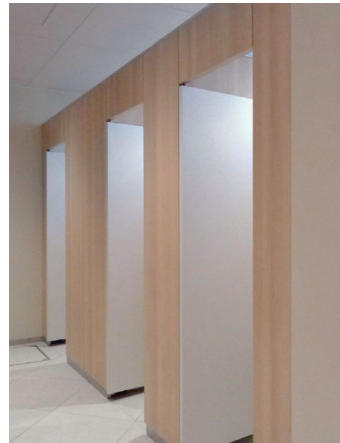
照星館横トイレ 女性トイレ 全体

白と淡色の木で仕上げた明るく清潔感のある空間。洗面コーナーは、洗面器の間に温風乾燥機を設置して、床の水濡れに配慮している。



照星館横トイレ 女性トイレ 多機能トイレ

さまざまな利用者に配慮し、男女トイレそれぞれにオストメイトや乳幼児連れに配慮した多機能トイレを設置している。



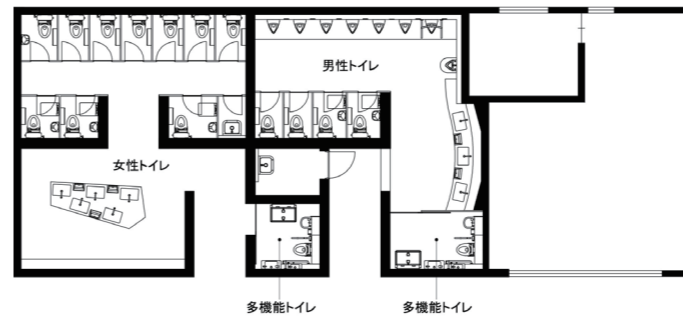
照星館横トイレ 女性トイレ 大便器コーナー

大便器ブースの間仕切りを天井近くまで立ち上げ、個室感を高めている。紙巻器は、メンテナンス性のよいスベア付紙巻器を採用。手荷物を置く棚として利用したり、手をついて立ち座りをサポートすることもできる。



照星館横トイレ 男性トイレ 洗面コーナー

洗面カウンター奥には広めのドライスペースを設け、観光客の手荷物に配慮している。大型の全面鏡が空間をさらに広く感じさせている。



案内所トイレ 図面

開放感のあるゆったりとした空間。女性トイレは、混雑時にもトイレ内で一列に並んで待てるスペースを十分確保している。



照星館横トイレ 男性トイレ 小便器コーナー

小便器は、床面の清掃性のよい壁掛式を採用。さらに小便器下に、防汚・防臭機能のあるハイドロテクト・フロアPUを設置し、汚れやすい小便器まわりの清掃性に配慮している。



照星館横トイレ 男性トイレ 大便器ブース

利用者が多い場合でも、連続使用ができるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。ウォシュレットのリモコンは電源不要のエコリモコンを採用。



照星館横トイレ 図面

男女トイレそれぞれに多機能ブースとひろびろブースを備え、機能的にレイアウトされたトイレ空間となっている。

水まわりの特長

改修の経緯

「太宰府天満宮」は、901(昌泰4)年、京都から太宰府へ政略により左遷され、この地で亡くなった菅原道真(すがわらのみちざね)公を祀る。全国約12,000社の天神様を祀る神社の総本宮である。道真公が学問に秀でていたことから学問の神様として崇敬を集め、現在も大勢の受験生が参拝、年間約1000万人(初詣は200万人以上)の参拝者が訪れる。福岡さっての観光スポットであることから、高齢者やお子様連れ、さまざまな身体状況の方々に配慮したトイレへと境内のトイレを順次改修。今回は、案内所トイレと照星館横の屋外トイレの改修が実施された。また、訪日外国人の来訪も多く、今回の改修では外国人観光客への配慮も充実。和式便器からすべて洋式便器に変更。4ヶ国語表示も充実させている。

トイレの特長

天満宮の境内にふさわしく、清々しさを感じさせるトイレ空間。大便器は男女各トイレとも、環境に配慮した節水型のパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式と、電源が不要のエコリモコン搭載ウォシュレットを採用し、観光客の快適性を向上した。さらに、清掃方法をこれまでの水を撒く湿式清掃から乾式清掃に変更して、清掃性を向上させた。清掃担当者からも「床の拭き上げでお客様を待たせなくてよい」と好評である。また、両トイレともに男女トイレそれぞれに車いす使用者やおストメイトなどに配慮した設備を備えた多機能ブースとお子様連れに配慮したひろびろブースを設け、訪れる観光客をはじめ、さまざまな使用者に配慮したトイレを整備している。

建築概要

名称	太宰府天満宮(案内所トイレ・照星館(しょうせいかん)横トイレ)
所在地	福岡県太宰府市宰府4-7-1
施主	太宰府天満宮
設計	アトリエサンカスケール株式会社
施工	ナガタ建設株式会社
竣工年月	(改修)2019年11月
延床面積	123.50㎡(案内所トイレ) 86.52㎡(照星館横トイレ)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497B
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5533AYR
スベア付紙巻器:YH163R/LS
自動洗浄小便器:UFS900
ハイドロセラ・フロアPU:AB680B
コンパクト多機能トイレパック:UADAK21
幼児用小便器:U310GY
ハイドロセラ・フロアキッズ:AB545
ベビーチェア:YKA15R
ベビーシート:YKA25R
フィッティングボード:YKA41